

本誌をより身近な存在に

一般社団法人日本植物防疫協会 理事長 上 路 雅 子

平素より本誌をご愛読いただき、誠に有り難うございます。

月刊「植物防疫」は、植物防疫に関する総合的な技術情報誌として、永年にわたり、我が国の植物防疫に携わる皆様にご愛読いただいているところです。他方、将来にわたり多くの関係者にご愛読いただくには、植物防疫分野の情報発信媒体としての機能を高め、本誌を読者の身近な存在と感じていただく必要があると考えております。このような観点にたち、今般、本誌刊行に係る取り組み方針等について若干の見直しを行いました。

まず、月刊誌として、全国の植物防疫に携わる研究者・技術者等に実践的に役立つ新しい情報を提供していくため、これまで以上に関係者の皆様から積極的なご寄稿をお願いしてまいりたいと存じます。本誌はこれまでも広範な記事を掲載してまいりましたが、ご寄稿の参考とするため、今般、それらをわかりやすく「掲載規程」(巻末参照)として整理致しました。

例えば、記事のジャンルでは、病虫害・雑草防除研究に限らず、農薬のリスクや管理に関するもの、製剤・施用技術に関するもの等、植物防疫に関する行政、研究、技術等の情報を幅広くカバーしてまいります。また、一定の結論が得られた成果を解説した研究報告はもとより、新たに問題化した病虫害、薬剤耐性、その他防除上のトピックス等、速報的な情報や現在進行形のホットな話題も紹介してまいりたいと考えております。

次に、本誌バックナンバーの公開についても取り組んでいくことと致しました。せっかく寄稿いただいた記事がインターネット検索にもかからないようでは、身近な存在とはいえません。本誌掲載から一定期間を経たものを当協会ホームページ上で公開していけるよう、準備をすすめてまいります。

なお、時代の趨勢に合わせ、2018年1月号からは本誌の体裁をA4判に変更してまいりたいと考えております。

このような取り組みを通じ、これからも本誌の継続的な刊行につとめてまいります。皆様からの積極的なご寄稿と引き続きのご愛読をよろしくお願い申し上げます。